

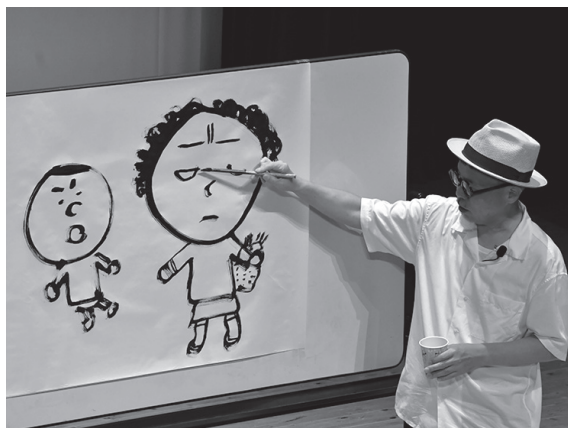


仲田さん自作の望遠鏡で星空を観察

7月26日、滝山公園で、「滝山星空ナイト」が開催されました。はじめに、明治の文豪・小泉八雲が著作「骨董」の中で「幽霊滝」として紹介した龍王滝を散策。雄大な龍王滝の姿、美しい自然美に、参加者はみな見入っていました。日が沈んだ後は、滝山公園駐車場で、根雨出身の星のソムリエ®仲田和夫さん（大阪府）自作の大型望遠鏡で、星空保全地域に指定された日野町の満天の星空を観察。当日は雲もなく、参加者は天の川や夏の大三角形など、綺麗な星空観察を満喫しました。

滝山星空ナイト

幽玄の滝と満天の星空に魅了され

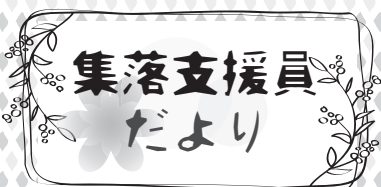


リアルタイムで描いていく長谷川さん

7月27日、町文化センターで、絵本作家の長谷川義史さんが絵を描きながら読み聞かせをする絵本ライブが開催されました。長谷川さんは大阪在住で、親しみやすくユーモラスな作風が人気の絵本作家です。町図書館開館30周年を記念して開かれた同イベントでは、自作の絵本の読み聞かせやウクレレの演奏、筆と墨でその場で描くライブ紙芝居などが行われました。会場は、長谷川さんの軽妙な語り口に笑い声があふれていました。

長谷川義史絵本ライブ

親しみやすい語り、笑いと感動あふれる



SASAKI RYOUMEI
佐々木 良明

担当地区：菅福



菅福の元気、活力の象徴として豆腐・味噌・餅を製造販売してきた元気邑も、今は労働力の減少、購買力の低下が避けられず、持続性のヒントを求め、6月30日、総勢28名で岡山県津山市阿波地区の「あばグリーン公社」を視察してきました。

高齢化率52%の地区で、80代のお母さん方がさまざまな加工品を製造して2千万円を売り上げています。ただその大半を冬場の餅、味噌を主体とした「ふるさと小包」が占めていました。視察者からは、新商品開発のアドバイスを求めるなど有意義な視察になりました。

昼食は、囲炉裏で焼いたあまごの塩焼きと五平餅、とろろ汁ご飯の田舎料理を堪能して、ちょっとした観光も楽しみました。

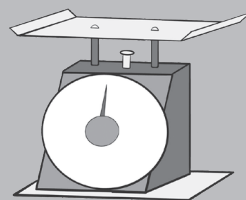


「はかり」は2年に1回の定期検査を受ける必要があります

令和7年度特定計量器定期検査の実施について

商品の販売や医療行為などに使用する特定の「はかり」を利用している会社、商工業者、農林漁業者、団体、医療機関、学校、官公庁などの皆さんは、「計量法」に基づき、2年に1回の「定期検査」を受けることが義務づけられています。

この検査を受けないで、取引または証明上の計量に「はかり」を使用すると、計量法違反として処罰されることがあります。（違反の罰則は50万円以下の罰金）



検査日および検査場所

日時 / 9月12日（金）午後1時～午後3時
場所 / 山村開発センター 1F 玄関

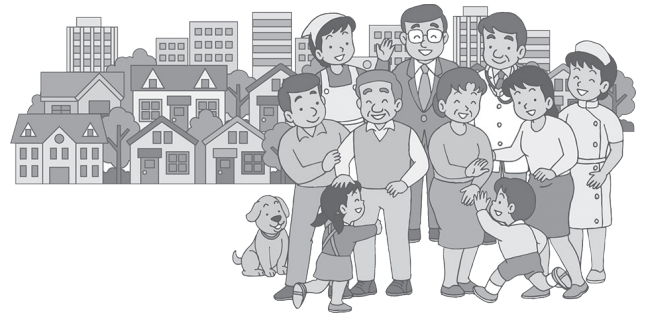
【問合せ先】役場産業振興課（電話 0859-72-2101）

「ともに生きる」日野町の目指す町づくり

－新しい認知症観をもつために－

★ともに生きる日野町が目指す町づくりとは－

- ・認知症を自分事ととらえ、誰もが安心して認知症になれる町
- ・認知症の**備え・工夫**を考えながら生活できる町
- ・本人の意思が尊重される町
- ・認知症の理解を深め、認知症の偏見がなくなる町
- ・誰もが生きがいをもって最期まで人生を楽しんで暮らせる町
- ・誰もが笑顔の絶えない町
- ・自分にとっての「あたたかい居場所」があり続ける町
- ・いろんな世代とつながり、認め合うことができる町
- ・「チームオレンジ」の考えのもと、地域住民や多職種が一緒になってつながり支え合う町



★認知症の備え・工夫とは－

認知症は、現在「進行を遅らせる」ことはできますが、「予防・完全治癒」はできない病気です。地震の予測が難しいため備えておくのと同様に、認知症も、自分事としてとらえ日ごろから備えておきましょう。

認知症の備え

- みんなで認知症を学び、理解を深め、偏見を少しでも減らしておきましょう。
- 家族仲良く、地域の方とも仲良く、友人関係も仲良く、人間関係を良好にしておきましょう。
いざというとき、自分を理解してくれる人がまわりにたくさんいると心の安心が得られます。
- 体の調子を整えておく。
百歳体操を継続して行うなど、日々体を動かし、生活習慣病予防・重症化予防を行いましょう。
- 日ごろから自身の健康状態を確認しておく。
健康診断や定期受診を行いましょう。内科だけでなく、歯科や耳鼻科、眼科などの専門科もお忘れなく！
- 学ぶことを恐れず、初めての体験やデジタル（スマホなど）にチャレンジする。
いざというとき、もう一つの脳として活躍してくれます。
- 「わくわく」や「ときめき」を大切に。
- 今後の人生について考える。
「もしものときのあんしん手帳」などを活用し、今後の未来ある人生の希望を書き留めておく。
- ストレスと上手に付き合う。自分の発散方法で人生を楽しみましょう。
- いろいろな相談先を見つけておく。
- 人と地域などのつながりを大切に生活していく。
- 最後に、今日1日1日を大事に生きることが「備え」につながる。

工夫

- ★今の生活を継続していくために、工夫して生活していくことを考える。
- ★失敗を恐れずに行動すれば、失敗したことが工夫により成功につながる。ひとつひとつをマイナスにとらえず、プラスにしていきましょう。（失敗してもいいんです！というマインドに）

★9月から役場内で関連図書の展示を行う予定です。秋の夜長に本を読んで、認知症への理解を深めましょう。

【問合せ先】町地域包括支援センター（電話 72-0339）